
4年研究授業計画

東二番丁小学校 4学年担任 菅野 登志子

1 研究教科 社会科

2 共同研究における目指す子供像

- (1) 理由を明確にして自分なりの思いや考えを持つ。
- (2) 相手の反応を見ながら、自分なりの思いや考えを表現する。
- (3) 共通点・相違点を考えながら伝え合い、自分の考えに生かす。

3 社会科で目指す児童像

社会的事象について進んで調べ、その意味について考えたり考えたことを表現したりする活動を通して、互いに考えを発展させることができる。

4 児童の実態

校内の防火設備調べに意欲的に取り組む姿が見られ、自主学習でも社会科の内容が出てくるなど、社会科への関心は高い。気付いたことを積極的に発言する児童がいる反面、ほとんど発言がない児童も見られる。また、発表は好きだが、相手の発表を最後までしっかり聞くことが難しい児童も少なくない。見学や調査は意欲的だが、調べた結果や資料から何が分かるのかをまとめたり、お互いの考えを交流して伝え合ったりすることは得意ではない。

5 『小学校学習指導要領』における言語活動の位置づけ

本研究は『小学校指導要領』社会科の第3学年及び第4学年目標(3)「地域における社会的事象を観察、調査するとともに、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようになる。」に基づいて行う。

6 授業研究計画

- (1) 一人一人が社会的事象について意欲的に調べ、調べたことを根拠に自分の考えを持つことができる授業。
- (2) 調べたことや自分の考えを相手に分かりやすく表現し、お互いに伝え合うことで多様な考えに気付くことのできる授業。

7 授業技術課題

- ・ 児童が興味関心を持つことができる資料や教材の準備と、提示の仕方を工夫する。
- ・ 児童が自分の考えを伝え合い考えを交流させる活動や場の設定を工夫する。

◎ 教科の目標と研究内容との関連

(1) 指導要領より

①教科の目標

社会生活についての理解を図り，我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て，国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

②3 学年及び 4 学年の内容

第 3 学年及び第 4 学年の内容は，地域社会の社会的事象について，次の六つの項目から構成されている。

ア 身近な地域や市の地形，土地利用，公共施設などの様子

イ 地域の生産や販売に携わっている人々の働き

ウ 地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動

エ 地域の人々の安全を守るための諸活動

オ 地域の古い道具，文化財や年中行事，地域の発展に尽くした先人の具体的事例

カ 県の地形や産業，県内の特色ある地域

第 3 学年及び第 4 学年では，これらの内容を取り上げ，自分たちの住んでいる地域の社会生活を総合的に理解できるようにするとともに，地域社会の一員としての自覚を持ち，地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。

第 4 学年では，ウ・エ・オの一部・カの内容が取り上げられている。今年度は，その中でも地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動を基にして考えることを中心にして授業を考えていきたい。

(2) 今年度指導するポイント

①見学や調査，資料を効果的に活用することで，人々の健康な生活や良好な生活環境の維持にかかわる対策や事業に興味関心を持たせる。毎日の当たり前の生活がそれらの対策や事業に支えられていることに気付かせるとともに，それらの対策や事業の仕事や仕組みを理解させる。

②仙台市の水道やごみについて，資料からいろいろなことが読み取れることや二つの資料を関連させて見ることなどを体験させ，資料から考える力を付けさせる。根拠となる資料などを示しながら自分の考えを説明することができるようにさせる。

③資料から課題や問題点なども考えさせたい。資源・エネルギーや環境保全に対する意識を高め，家族や自分にできることはないかを考えさせていきたい。それらの活動を通して社会の一員としての自覚を持たせたい。